介男忠 〇五社

紙上を

程伏して

順申

候先右

T

30

し致

します

營柳

靑陽ビ

ル(背柳向ひ)

大過

15

送年致しま

弊店

した

11

偏に

各位の

坪上氏赴任

【東京國通】去る廿三日創立 を記官機関員監長前道赴任の 造に就いたが東拓開保者等多 造に就いたが東拓開保者等多 造に就いたが東拓開保者等多

町

食道樂

青

る物ご

厚く御禮申上

ます。

質は御訪問の

上御禮

申上

可く筈の

柳敬白

御同情ご

御引立に依

電話三一

球茶!

女店 獲

店員

負數

物女ル夢

張集

K

2

撞喫ホ

交通部裏百

處何かこ多忙の為年

▲加藤泰次氏 (羅紗海) 二十八月午前來京園 本院田良一氏 (蕭鎮歌) 同一年後來京園 中山四郎氏 (清鎮歌社員) 同 中山四郎氏 (清鎮歌社員) 同 中山四郎氏 (清鎮歌社員) 同 中山四郎氏 (吉鉢被路局) 同 中前港天へ (三変商事) 同 中原役太郎氏 (日本ボリド ル) 町大連 (十の) 町大連 (本強電子大氏 (新洲岡宮安) 同大連 (大水銀) 二十七日午後來京園都 東正課

訓滿

用犬協

會都京支部

進行の主要

失禮紙上

を以て御挟

申上

まかす

手

採

新年度も

お變り

引立

の程伏

して

▲採

4年前來京名古

蒙側監視哨對岸 日(ソクト

海人す (高州區 高人す (高州區 (具種湖 が酒

● 国中 接近 (東京) 国

《 山 中 接 連 氏 (東京) 国

《 山 中 接 連 氏 (東京) 国

一 八 日 午 前 東京) 国 空往 (天津)二十七日

部務) 同午後率天より 高田柴内氏(議別顧官吏) 同ハルビンより 同ハルビンより 同ハルビンより

▼側定部正常

胚新譜 **廣吉龍幹**泉 澤田甲木山 表虎良虎米小天左

林田寫眞館

館主

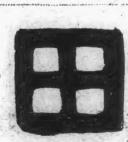
田

L

きす









も餘寸處數日に迫

多忙

清詳

0)

段奉賀ます本

酷寒の

侯各位益

R

撮

國交調整を欲せば 排日方針を清算せ 手以

陸軍首 内鮮鉄道との

環まれない は実施を 関数を は実施を は実施を は実施を は実施を は実施を は実施を は実施を がで居るもいり がで居るもので がで居るもので がで居るが がで居るもので がで居るもので がで居るもので がでは、 であるものでない は実施のでない。 関表を がのでない。 関系を がのでない。 は要数に を がのでない。 はのでない。 はのでない。

はれた貨物運賃

単しまで、単重しまで、単重しまで、単重しまでである。

警ロ、鞍山及率天、新京、安 制度は斯界に於て最も合理的 との定評あり、現に大連市、 再起を決意

(泰天國通) 鐵路總局今次の 建質改正は事ら荷主の負擔要 化の設達と對外交易の港展を 他の設達と對外交易の港展を

目を掲げ一目瞭然たら な貨物繁変正等級表には で貨物等級改正

末日を以つて認可の有效期限 り新規程による電氣料金制を別市新設市街、同城内及チチ 廿七日認可となり、その結果の市城内、安東舊市街、新京特 を強て監督官廳に申請中の所能級、滿別電策公司では率天 満了となるので、之が改訂方

運賃改

止はその順著なるもの をはその順著なるもの がつた、此點を改正し がつた、此點を改正し が出た。 がれた。 がれた。

小需要家に

金制が便

主の

ては別に強奏を見た通りであるがこの改正の一般商取引上に及ぼしたる利便乃至は鐵道に及ぼしたる利便乃至は鐵道で、計、國線關統一的事項イ、貨物運貨率、從來運貨

不便を感じたが、 一般を感じたが を感じたが

て 新倉社が決定を見たが目下中株式を開放するものは裏に中株式を開放するものは裏にする。

現在大職省に於て審査中であ 様であ 工業會社外職社の株式開放は で明年

外交部最後的抗議

將來自衛

上凡有る手段を執る

こを自彈

※河南方地 が 一新巴斯虎左

は威力を以て之を後退せして、法越続し東れる外震兵のりし蘇州側側監視哨に動かれる外震兵の上蘇州側側監視哨に動きない。

に競表を見た通りであ

鐵傍系數社

明年早々株式公募?

宋議院各常 (東京國通) 衆國院の各常任 東京國通) 衆國院の各常任 委員長及び理事は出七日本會 世大、各委員長左の如し

ま等者のこうで

希望者は以上の條件を承知の上で自ては大と一話に襲る位の決心ある者で場合によっては大と一話に襲る位の決心ある者の設備がある。 物語は日於八十銭、宿舎の設備がるも食事は自葬のこと 一、粉光訓練士の資格を獲得せんとする者で場合によって、粉光訓練士の資格を獲得せんとする者で場合によって、粉光訓練士の資格を獲得せんとする者で場合によって、粉光訓練士の資格を獲得せんとする者で場合によって、粉光訓練士の資格を獲得せんとする者で場合によって、粉光訓練士の資格を獲得せんとする者で場合によって、 行と面叡時間は午前中 版書持多本人直接事務所 育内に確實なる保證人を要す 所の に申込

鬼安大路 == 三〇競馬場先 Ξ 支京部

御待ち致

出

弊店 正月のお寫眞は

順申上ます

承れば混雑せずに結構と存 張撮影は前以て して 御用命を 是非

の事

責 任

たるる、 情計は四十一 によって各地に

實業部高橋總務

矢田部公使 (東京國遊) 矢田部シャム公使は賜暇野朝の許可を得たので来著一身中旬時國の途に就受計した。 で来著一身中旬時國の途に就受計し日外務省に報告があった、尚同氏歸朝後は特命となり其後任は東亜局長秦島氏が有力観されてゐる

一治豐新貞 質郎一松夫

一利であり之等の小需要家の為 には選料金捌を其まっ存置さ には選料金捌を其まっ存置さ

去る世五日みづや惣菜店開業に付重詰の率仕的強約を發表致し 候處御申込み忽ち殺到致し強定 で可申を慮り遺憾ながら本日を 以て締切申候 以て締切申候 以て締切申候 がら感銘仕候此上は猫一層精神 がら感銘仕候此上は猫一層精神 がら感銘仕候此上は猫一層精神

挨

天の日本水上選手

六日 平常通り復活

拶

鲜人製菓店員

主人の金て

本大大連合商演の本支店 本大大連合商演の本支店 本大大連合商演の本支店 本大大連合商演の本支店

WITH THE STREET STREET

*

==

六八 Ξŧ

五三

お大盡遊び 鮮魔尚南道金海郡海宗

送別競技大會

兇惡無殘の鮮人青年二人組 新京署に凱歌擧る 人指曾徳〈左〉と柳落俊〈右〉であつた《寫眞逮捕された犯

約二日目にして新京署に凱歌が撃つた の言いは、他の言い投資とは、他の言いは、他の言いは、他の言いない。 の言い投資とは、他の言いない。 の言いない。 の言いないない。 の言いない。 の言 こんな本件を來年に持ち越 で署員を脅勵檢察につとめ たがこの窓中不眠不休でみ んなやつてくれたので遂に 地で先ず借金を返して新年 を迎へることが出來た。こ もで発することが出來る譯だ を迎へることが出來る譯だ を強へることが出來る譯だ

年内逮捕を喜ぶ

廣石署長談

八は被害者の友人 張込みの網に懸

任は喜びの面持ちで

衣勇士凱旋

二十七日午前十時頃市内日本 橋通東公園内入口より北方的 三十三米通路南側生垣の内に 三十三米通路南側生垣の内に 府錦町二 鏡南道咸與

判明田中帝會につき被害者の 松本茂雄こと蔡重峰(二五)と 人が常に豪を尋ねて來、二十祭と同郷人と稱する二人の鮮 他を調査するに

お田でたことをつきとめた刑打ち連れて午後八韓頃店を立打ち連れて午後八韓頃店を立

人の身元判別、これを追及すとを探知、直ちに寫真の蒐集につとめ午後九時頃に至り同につとめ年後九時頃に至り同 時頃時にそよけれと馬車に乗り間か、鮮人料理屋に誘ひ更 柳は蘂の園手を掘して東公園 につれ込み入口から約三十米

西公園誠忠碑前にて=

國際運輸の

宿舍で

副匪首

目を逮捕

D

- コング所持の犯人

は動く」の大作二本立に漫畵

0

同行近高者に柳落俊(一九)同行近調べの結果、間夜樹とと斃名ある樹曾徳(二三)を 醉ひ潰した上て たが、兩名とも最初は言を左 たが、年後十時頃に至り速に では、一位な切れず犯行の一切を明確 に自自するに至つた 張込み中 有無を言は を知らず酵

で殺人犯を逮捕した飛田司

円憐の野上さんに

引き續く

い同情金

蔵末佳話を綴る街の人情

行後二日一夜の超スピ

飛田主任 の苦心語る

部下

犯罪の裏は胤倫悪徳の渦 整し二十六日午後七時頃祭を 迎へて三人で飲酒其の家を出 で、市内購入飲食店四軒を飲 その遺恨を暗すべく

さ」か酩酊せる頃 一家五人を支へるため、室町小型校の野上煮さんの大人も 及ば以可憐な孝行ぶりは、本 及ば以可憐な孝行ぶりは、本 、紙競妻以來俄然變多深くまし い同情を蒐めてゐるが、市内 日本橋通り萬屋旅館の女將平 野サダさんから左の手紙を添 へ金五圓を本社に托して來た 【前略】賞は網紙十二月二 聴るの

ري

金記二世大市内 本でを商ふ某単行主の夫人は 先般来 郷東 二十八日夕刻かねて顔見知り 一、半田樹 二十八日夕刻かねて顔見知り 一、半田樹 一、半田樹 一、半田樹 上からもそ を検束 郷東 を 名の夫人から 医名の夫人から を 名の夫人から を 名の夫人から を 名の夫人から を 名の夫人から 野サダ

書庫がかなり充實し來つ 比でなく、

化的貧困を嘆き日滿國策遂行である、かくの如き新京の文 これらは勿論特殊 非公開的なも 新京憲長縣本部副官西田象三 の一日午前七時競列車で る三十一日午前七時競列車で 卅一日朝發赴任 西田憲兵少佐は

では消機圖書館はあるがこ

☆圖書館の要望 た調書館が無い、 日満要人から總理へ砒議

滿洲國侧 大きいと言はればならぬ 整理、保存に努めてゐるので な書籍、雑誌、新聞の蒐集、 の策の上に必要不可缺な老大 の策の上に必要不可缺な老大 た、ソ聯にしても中華民國に 諸方と連絡し急速な實現のた しても國立圖書館をその首

により豫定を變更し三十日午

時三十分新京を通過するのでとに決定した、一行は午後五とに決定した、一行は午後五 な見送をなす筈である が生んだ温蝶後接會員が盛大新京體資際以氷上部並に新京

庭

=

沓」フオツクス日本版「世書はパ社日本語版「生命の 期間は州日まで」あるからせ り好評をかつて感況を極めて概然設行職者奉仕は各方面よ ップして行つた本社の優待半臘樂劇場の歳末興行とタイア ゐるが減騰面刷込半額祭有 社讀者優待 粤樂劇場賑ふ 级酒

前

面圆八十錢

本男子五百米

1 石原省三君(代表)四五

1 石原省三君(代表)四五

2 四六秒五、3 南洞邦夫君

(代表)四九秒一

(代表)六分十四秒五、3 龍三七子線

(代表)六分十四秒五、3 龍三七子線

(代表)六分十四秒五、3 龍三七子線

(代表)六分十四秒五、3 龍三七子線

(代表)六分十四秒五、3 龍三七子線 IPPO (PPd) **録、→汾陽※子鰈(代表)** 四秒六一以上全部日本新記

五圓を寄托 石で金参園を托されたとやらにあげて下さい 、中を開いて見ると金と認めた封筒が舞ひ込と認めた封筒が舞ひ込

にも無名で

に 解けること x なつたがこれ

無め小澤脳証委員を通じ同家 かつた、本社ではこれらを取 かつた、本社ではこれらを取 かった。本社ではこれらを取

星少佐出發

||第一日午前中の成績||

官民多數に見送られ出酸した 星少佐は廿九日午前九時州分

本男子五千米 本男子五千米 1 安達和男君(奉天)九分十四秒三、2金正淵君(代表)九分十秒二、3 張裕植 妻(代表)九分十一秒四、 1 安達和男君(本天)九分十一秒四、 1 安達和男君(本天)九分十一秒四、 1 安達和男君(本天)九分十一秒四、 第一日は午後三時四十分終了 した「富眞は女子選手一行と した「富眞は女子選手一行と

御用命下さいませ、「動物の御需要を思ひまして中島特製優良酒を全然算競技きで發賣中で御座いますから何本多少に拘らず以今年末歳始の御需要を思ひまして中島特製優良酒を全然算競技したいものと努力致して居りますから、明春賣出して「高い優入酒不要」「酒は丸三に限る」の飼言薬を頂敷致したいものと努力致して居りますから、明春賣出して「高い優入酒不要」「酒は丸三に限る」の飼言薬を頂敷致したいものと努力致して居りますから、明春賣出して「西地の米」と「満州の水」と「丸三の技術」とを融合して出來上る味はひに佐づてキット皆様から「難酒以上この度安護街中島酒造場跡で「丸三新酒」を醸造する事になりました

又は天平にて飲食するなどし 工機領金を全部費消し、市營 アパート二十一號に潜伏中を

豫定であつたが、種々の事情 月三日率天出襲晴の途に着く 世界銀盤の制覇を目 明夜歐洲へ

銘酒 (京泉)

一升 金九拾錢

上酒一升金八拾錢

0

酒

特

賣

◎特別廉寶に付賣出期間中は現金にてお願ひ申し上げます。◎見本酒御入用の御方には現品通りの品を差上げまずから一度御試し下さい。●打以上御買上の際は一本御添へ致します。●御用命は電話(二)三三四○番へ御申附下さい迅速に配達致します

冬 冬服の御用は 技術優秀

十二月廿八日まで

新京支店

二週間

限

十二月十五日より

九三興業株式會

文化のバ

D

及



新京 出場所

骨董 造花ヤマカミ 女生化 へんピンセスト 電話三二九〇谷





では午前十時から簡任官及 「四特週以上の朝賀を受けさ

四、大子剛と闘食を振奏。 一司法・部職員が 一司法・部職員が 一司法・部職員が 一司法・部職員が 一司法・部職員が と確九十一強を南衛に陸區した。 一面は、一百初句黄花松の東 ので、ブローニング拳銃・艇 ので、ブローニング拳銃・艇 と確九十一強を南衛に陸區した。 とで、ブローニング拳銃・艇 とで、ブローニング拳銃・艇 を関九十一強を南衛に陸區した。 ところを逮捕されたも とで、ブローニング拳銃・艇 をで、ブローニング拳銃・艇 をで、ブローニング拳銃・艇 をで、ブローニング拳銃・一艇

和の余技の夕(東京) 和の余技の夕(東京) 和明田中相生▲七。三〇隆 和明田中相生▲七。三〇隆

市内食料品店ニテ御買上ヲ領ヒマス御進物用優美化粧鞘御座キマス

今晩の主なる放逸番組

良酒

(I

融

壹圓五十錢

間

司法部職員が

満銭病院の

大士八日昭和九年以來新京を中心に荒し廻つた兇悪なる歴 地を逮捕しブローニシル拳銃 大士八日昭和九年以來新京を中心に荒し廻つた兇悪なる歴 地を逮捕しブローニシル拳銃 情報に新京署日高刑事の一騰 大丁目二番地園際運輸箱舎園 六丁目二番地園際運輸箱舎園

度してるた肥首川山江とと 近に部下七十名を事ひて帰 力として働ぐらも、當時附 で、当時間を、一四)で昭和九十名を事ひて帰 が、当時間を、一回)で昭和九十名を事びて帰

時局の現情に鑑み、忘年會を時局の現情に鑑み、忘年會を じ金一封を國防職金と で荒し、本年五月年方から二百餘曜を

年末年前に際し済雄新京陽院 の診療受付け左の通り 三十一日 年前中 三十一日 年前中 一日 年前中

受付 年末年始

月6八年後四時 十三分 日6八年後四時 十三分 日6八年後四時 十三分 日6八年後四時 十三分 大数年前九時二十四分

と無温

旗

P7 店 イヤ街人 島通四〇

1 12 m 佐二三

大浦一州が

公會堂で 正月三日より

本語 (本語) 大学 (本語) 本の (

英後は秋月暮久子さんとには色々の事情で解

開催した盛り澤山の出し物、特にお芝居は支人そつち退けのらまさに満都の人気を湧き立たせた。小さいお鎌さん達のものに黎明舞踊會がある。一年中お稽古を銀けてゐて、中国月と十月に受夷會を催し、

市民である。入れ物の強えたならないのは質響を観る人はないのは質響を観る人は

昭和十年新京演藝史

月長春座に、

天野光

鄉

暗早陽太山伊嵐彦 外決れ慶取 木達の左 の野千園稚識 た 餘死決球両 兵忠真太

機能輸錄兒助

X exx exx exx ex

CX e XXX e X

巨彈を集中せ

九〇〇 早晨演奏 (大調) 九〇〇 早晨演奏 (清語) 一〇 五九 幹 報 (東京) 一四〇 二二〇 資の演奏 (東京引練を新京) (シュース 0 あ ・ 六三○ 建國體操 ・ 六、五一 ラデオ體 ・ 八進船の御知らせ (大連) す 0 番 組 500 三十日(万曜)

一、一、 無 木 二三吉 一、 東 木 二三吉 一、 東 千 八 八 一、 東 千 八 八 一、 東 月 條 五、 柳 家 三龜松 (編語) 成二年前年

を 大二〇今晩の香 東 無線 無用は

五二〇 二十年の 新京 協術同好會 第十年の 1年 (英語) 二三名 第一年 (英語) 二三名 第一年 (英語) 第一十年 人三〇 時報・ 北浦の

農樂劇場 半額優待券 まで有効

營業

間

新京日日新聞社

4額優待券

[いき下用利御を具器氣電るれば喜らに誰はに暮歳御の年今]

五十五順マデ 五十五順マデ

店商關伊爾 店頭電

より折日

電気後ばど

金金を大きた。

無樂劇場 か七日より

等より有線無線にて中繼 線座・新宿・大川端・漢章 線座・新宿・大川端・漢章 東西歲米風景(大阪・東京)

四三三三 三五 ○ ○ ○ ○ ○

ニュニ經濟市スススス

一ル・ムニの リーナー・プラザース はその一場面 関対、スチールはその一場面 関を将来である映画である。キャメラはドニー・ゴーディオ、長春座正月 カヤメラはドニー・ゴーディオ、長春座正月 カインスム かり にした、貧富の懸隔、人種的差が サンズムが 対照され 興味深い雰 園 気を構成 アールはその一場面

世界は

即

安い

b

0

は恥

か

4

山本

福券付

の五質

一分の一や贈奉致します

る品が當店には特別に澤山取揃へて御座います

と仰言いますが

その御心配はいりません、

これは結構と喜ばれ



位

新京自動

タクシー

タ

7

業

同

スポーツ浪機の創始者として スポーツ浪機の創始者として 別会主催、落磯社會保、編剛 を第してある大浦一朗後 を第してある、八場料は一個 とも浪曲ファンの間には人氣 を第してある、、前費券は一個 を第してある、、前費券は一個 を第してある。、、前費券は一個 を第してある。、、前費券は一個 を第してある。、、前費券は一個 を第してある。、、前費券は一個 を第してある。、、前費券は一個 を第してある。、、前費券は一個

撮影所だよ

羽子の「辻 からにや」 飯田蝶子

街 各位益々御多祥之段奉智 を対し、一切現金制を發表せられ の滑に持續するには自動 に持續するには自動 を対験後面選轉手は皆様 を対験を発表せられ を対象を はいばに付御 を対象と には自動

流 同 Columbia 二東春乙 吹興 浪貫 安 子—

吉住小三郎 吉住小三郎 古住小三郎 大四郎 古住小三郎

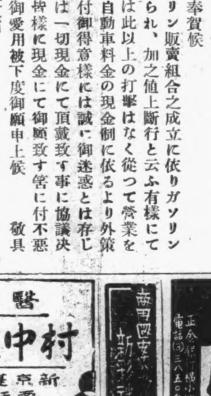
最適の年末贈答品 11-

1

·一五七五 · O同〇二 (三) 版章 八十通橋木日京新



器 療 八目丁一町菜连京新







浪 流 曲 Ŧ

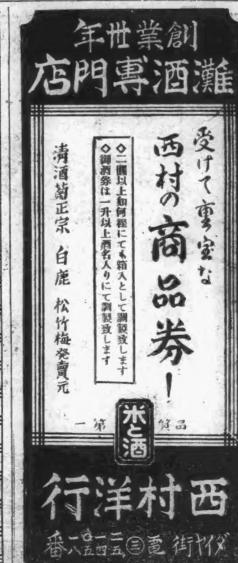
秘 曲 期日正月二日二日 齊藤内藏之助高田の馬場 田の馬場 田の馬場 上人 乗 上人 東 上人 間 記 盐 念 旬

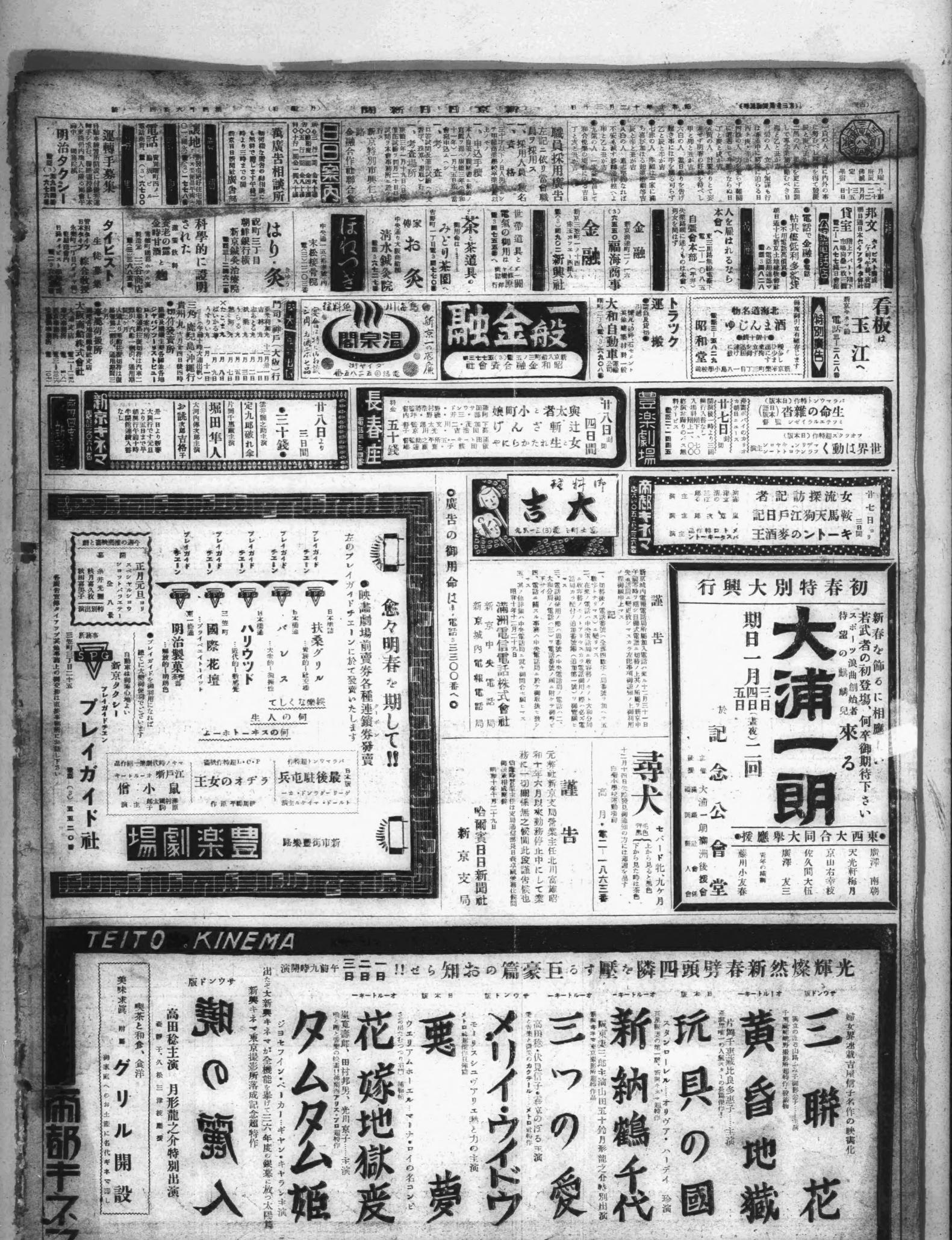
余 二追米博 多 公會堂 大 林田關治郎 人 壹

女

| 目見得で御座いますれば懸命の努力側招ぎに依り歐米巡察時期後始めて 挨

見山土山山





TEITO KINEMA